
特定非営利活動法人 わおん

平成 29 年度 事業計画書案

平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日

2017/04/02

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

特定非営利活動法人 わおん♪

〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL/FAX : 0263-87-3005

E-mail : waon@ac.auone-net.jp



♪わおんのミッション

こどもたちがもっと元気に輝く地域をめざす

♪平成 29 年度の重点目標

- ①森カフェプロジェクトをわおん♪の今後のメイン事業にできるように注力する
(数値目標：事業収入 22 万円→40 万円、通常森カフェ参加者数 411 人→600 人)
- ②県外・市外からの収益の高いキャンプ実施
(数値目標：事業収入 90 万円)
- ③わおんのファンになってくれる人を増やし、寄付・会員の増加を目指す
(数値目標：寄附金 26 万円→50 万円)

♪重点目標に対する具体的な取り組み

- ①：ハイジの森でのセミナー・イベントを企画（里山子育て・子育てセミナー等）
(数値目標：事業収入 22 万円→40 万円、通常森カフェ参加者数 411 人→600 人)

●新規参加者を増やす

→常連の参加者との関係づくりをし、常連の友達などの新規の参加者を増やす。また、新規の参加者が来やすくなるようにハードルを下げる工夫をしていく。(送迎、詳細地図の作成・配布ほか)

→子育て支援センターや子育てサークルに働きかけ、参加者に合せての開催も検討していく

●元気づくり支援金を活用し、里山子育て・子育てセミナー及びに、イベントを開催する

→イベントの参加者が定員いっぱい集められるよう、広報を工夫していく。情報が欲しい人に届く様、メールアドレスを手に入れたり、メルマガを積極的に活用していく。

里山子育て・子育てイベント以外にも、イベントを打っていくことで、参加者獲得や事業収入のアップにつなげていく

●森カフェコーディネーター養成講座の実施

森カフェを実施する人を養成する講座を年 2 回開催する

講座を受けたあとのフォローアップを行い、森カフェコーディネーターが森カフェ

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



を始めるためのサポートをしていく。

塩尻市に限らず、他地域での開催の可能性をさぐる

②：県外・市外からの収益の高いキャンプ実施

(数値目標：事業収入 90 万円)

参加費の高いキャンプを実施し、松本市、岡谷市、諏訪市など近隣市町村から参加者を獲得する。

③：わおんのファンになってくれる人を増やし、寄付・会員の増加を目指す

(数値目標：寄附金 26 万円→50 万円)

●登録ファンドレイザー制度を始める

わおん登録のファンドレイザー制度をつくり、わおん♪のファンドレイジングに取り組んでもらう。

●寄付キャンペーンを実施する

キャンペーンとして、寄附を集める強化期間を設定する。チャリティーイベントを行う。

♪平成 29 年度事業計画

(1) 環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊（子どもゆめ基金助成事業）

例年と同様に塩尻市小曾部の柏茂会館とその周辺を会場にして実施

4月～11月に計7回開催

対象：塩尻市周辺の小学3年生から中学生

わおん♪自然探検隊検定を兼ねる

1-2 ハイジの森探検隊（仮）

自然探検隊よりも低年齢層と保護者を対象とした自然体験イベントを検討

隔月で開催を検討する

対象：未就園児とその保護者

→実施を検討する

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



1-3 森カフェプロジェクトの実施（ハイジの森）

塩尻市小曾部にあるハイジの森を会場に実施

27年度から参加費を徴収（一般500円／会員200円 ※2歳未満は無料）

平日と土日を中心に、月4～5回程度開催予定

里山のクリスマス会、冬の森で遊ぼうなどの森カフェイベントも開催

元気づくり支援金助成事業の一環として、森カフェと癒しのコラボイベント

（里山子育て・子育て実践イベント）も開催する

対象：未就園児とその保護者、森カフェ開催に関心があるシニア

※イベント対象者はイベントにより異なる

1-4 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

塩尻市外の周辺市町村の子どもを対象に、単価の高いキャンプを実施

ツリーハウスキャンプ 2017/7/22-23、7/29-30 で予定

ひみつ基地探検隊キャンプ 2017/9/16-17、9/23-24 で予定

もくもくキャンプ 2017/10/14-15、10/21-22 で予定

県外の子どもたちを対象としたキャンプの受け入れを模索していく

1-5 塩嶺体験学習の家／受託

塩尻市教育委員会より受託

体験学習フェスティバル、こども未来塾リーダー研修の運営

塩嶺体験学習の家のブログの更新

塩嶺体験学習の家に関わるコーディネート業務

1-6 こどもしおじりの開催／受託

塩尻市（交流支援課）より受託

子どもたちが地域に関わるきっかけをつくることを目的に開催

平成29年度は、子ども会議を実施し、子どもたちが企画に関わっていく

12月9日（土）10日（日）に開催

対象：小学3年生から中学生（100名程度）

1-7 出前イベント／受託

児童館やPTAなどからの依頼を受けて実施

自然体感プログラム、出張森カフェ、昔あそび体験、出張げんすけを実施

子育て支援センター、保育園など関係部署への営業を積極的に実施していく

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



(2) 体験事業に関わる普及交流事業

2-1 げんすけ祭り

例年と同様に2月に、えんぱーくにて実施
地域で活躍する方によるブース出展の他、わおん♪こどもリーダーによるブ
ース企画、わおん♪の紹介ブースを設置
パートナーとの企画会議を実施するとともに、収入を増やす工夫をする
チャリティーイベントとのコラボなども検討する

2-2 各種交流会（げんすけ Bar、lunch、お茶会）／FR

パートナー会員や、わおん♪に関心のある人が気軽にあつまり交流できる企画
していく。
会場は山田家でピザやおやきなどを検討する
わおん♪で実施してみたい企画の募集などもおこなう

2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日／コラボ企画・ブース出展

さくらフェスタ等、各種イベントに出かけて、わおん♪のブースを出展する際
に、体験やグッズ販売などを実施。単価を上げて、1日1万円以上売り上げら
れるようにしていく。少人数で効率よく実施できるようにしていく。
げんすけのみが出かける出張げんすけが減っているので、PRを実施
出展料はかかっても、それ以上に効果のあるイベントを見つけ、積極的に出店
する。その際に、森カフェなどわおんのPRも行う

2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

森カフェを市外、県外へ全国に広げていくための企画を考え、実施する
まずは森カフェコーディネーター養成講座を実施し、実施へのフォローを手厚
くしていく
出張森カフェは、国営アルプスあづみの公園、松川青年自然の家で実施予定。
他にも実施できるよう、予算取りも含めて調整していく

2-5 里山子育て・子育てセミナーの開催

元気づくり支援金助成事業の一環として、子ども・自然関係のセミナーを開
催する。ハイジの森ではなく、えんぱーくなど参加しやすい会場で実施。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



- 「森が支える子どもの成長～ファミリーキャンプのススメ」
2017/6/25 午後 講師：鈴木道郎（キャンパーズヴィレッジ自然学校）
- 「子育て・子育て支援フォーラム」
2018年3月中旬ごろ
自然体験や子どもと関わる実践者をよんで、パネルディスカッション

2-6 関係ネットワークへの参加

信州外あそびネットワーク、木育フェスティバル実行委員会、中信地区環境教育ネットワーク、えんぱーくらぶ、ハッピーハロウィーン実行委員会、地域づくりネットワーク等、わおん♪のミッションに関係するネットワークへ参加し、情報の共有を図る

(3) 体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座

さまざまな場所で森カフェを開催できるように、森カフェコーディネーターを増やす。また、森カフェ実施までサポートしていく。

開催地域を検討し、年2回程度開催する。その他に、他地域・団体からの養成講座開催の希望にも応えていく

3-2 サポーター向け勉強会

わおん♪のミッションや各事業の目的などを伝え、ステップアップを図る
リスクマネジメント等、活動に必要な情報・スキルを共有する

対象：わおん♪パートナー

(4) 地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行

わおんの情報をメルマガで発信していく

クリックの状況などが確認できる新しいメルマガを立ち上げたので、徐々に現在のメルマガから移行していく

4-2 活動の動画配信

わおん♪の活動を撮影し、YouTube等で発信する

スタッフが集まった場合、しおじり.iBCによるインターネット放送を復活

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



4-3 げんすけがゆく

年に1度程度の発行を検討

内容を自然、子ども、外あそび等わおん♪の活動に関係のある分野にしぼる
わおん♪イベントカレンダーとの合作を検討していく

(5) 地域の物産開発ならびに販売事業

5-1 げんすけグッズ／FR

塩尻市内の店舗での販売

(現在はモナミいわさ、温(ぬっく)、地場産センター)

※観光案内所、チロルの森等での販売も検討中

BASEを活用して、WEB上で販売(<http://waon.base.ec/>)

5-2 こどもたちの元気の源「元源ブランド」づくり／FR

子どもの体験活動に関心のあるメーカーと協力し、販売の一部を子どもたちの体験活動に寄付する「元源ブランド」を提案していく

(6) 地域課題解決のための企画運営事業

6-1 出前イベント(ワークショップ)

依頼があった際に、ファシリテーターを派遣する

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業(運営管理)

・企画会議

わおん♪でやってみたい企画アイデアを出す機会を設ける

各種交流会に兼ねて開催することを検討

・広報

会員・パートナー／イベント参加者／出前イベント／寄付者を増やすことを
目的に広報に力を入れる

パンフレットの配布、Twitter・Facebookの更新、主に松本市へのブース出展、
コラボ企画等を実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売やを実施

登録ファンドレイザー制度を始め、寄付を増やす

その他、新規企画実施の際はその企画に向けたファンドレイジングを行う

・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回の頻度で発行

・会員募集

広報の一環で力を入れていく

・管理（顧客・備品）

セールスフォースの導入をすすめ、分からないところは研修会で確認していく。今年度は試行期間とし、30年度活用できることを目指す

・会計

引き続き、会計王を活用

理事会等で定期的にチェックをしていく

・事務（法人事務）

事務局体制を見直していく

拠点となる事務所を検討する

（もしくはクラウドサービスを活用して、情報共有しながら仕事をする）

※書類データ：Dropbox 写真データ：box 遠隔会議：appear. in

日々の情報共有：Facebook グループもしくはセールスフォース

顧客情報等：セールスフォース

タスク管理：Evernote

memo

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

